

授業科目	単位数	学年	期間	実務経験		担当氏名
				職種		
老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ (回復期・慢性期)	4	2・3	2年後期 ～ 3年後期	看護師		専任教員
実務経験のある教員等による授業科目(いずれかに○印)				授業形態(全授業時間に対する割合)		
該当する ・ 該当しない				講義形式()% ・ 実習など講義形式以外(100)%		
評価方法	看護実践・実習に対する意欲・態度・実習記録・カンファレンスへの参加・課題レポート・出席日数を総合的に評価			教科書・参考資料	臨地実習要綱 老年分野関連教科書他	
概要	既習の老年看護に関する諸理論をふまえ、老年期にある対象の特性と老化および各健康レベルへの対応を理解し、その健康レベルに応じた生活援助の実践を学ぶ。 超高齢社会を迎え、健康問題の動向と拡大する保健サービスを理解する。					
目標	1. 各ライフサイクルで疾患を抱える対象(老年期)を理解する 2. その対象に対する看護実践の方法を習得する 3. 健康のレベル(急性期・回復期・慢性期・終末期)・治療に応じた看護実践の方法を習得する 4. 専門職業人としての態度を養う					
回数	授業内容・計画					
	老年看護学実習Ⅰ(急性期・回復期の看護) 老年看護学実習Ⅱ(慢性期の看護) 津山中央病院 該当病棟及び該当部署 1. 受け持ち患者に対する看護過程の展開 2. 部署の見学、機能の理解					
留意事項						